



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月10日

上場会社名 株式会社RYODEN 上場取引所 東
 コード番号 8084 URL <https://www.ryoden.co.jp/>
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 富澤 克行
 問合せ先責任者(役職名) 総務部長 (氏名) 岡村 幸三郎 (TEL) 03-5396-6111
 定時株主総会開催予定日 2024年6月25日 配当支払開始予定日 2024年6月4日
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	259,008	△0.5	8,326	△11.2	8,236	△9.3	5,736	6.9
2023年3月期	260,303	13.6	9,380	32.8	9,077	24.6	5,366	7.2

(注) 包括利益 2024年3月期 9,040百万円(39.1%) 2023年3月期 6,499百万円(8.0%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	262.43	261.33	6.9	5.4	3.2
2023年3月期	245.93	244.73	7.0	6.2	3.6

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 28百万円 2023年3月期 △39百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	156,027	87,083	55.7	3,976.49
2023年3月期	151,049	79,898	52.8	3,652.29

(参考) 自己資本 2024年3月期 86,939百万円 2023年3月期 79,766百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	9,942	△710	△2,283	18,422
2023年3月期	△199	△1,251	△115	11,091

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	33.00	—	41.00	74.00	1,616	30.1	2.1
2024年3月期	—	46.00	—	60.00	106.00	2,317	40.4	2.8
2025年3月期(予想)	—	53.00	—	53.00	106.00	—	—	—

(注) 2023年10月30日公表の配当予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「配当予想の修正に関するお知らせ(増配)」をご参照ください。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	104,000	△19.9	2,800	△33.9	3,000	△30.5	2,100	△27.6	96.08
通期	219,000	△15.4	7,200	△13.5	7,300	△11.4	5,300	△7.6	242.48

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年3月期	22,824,977株	2023年3月期	22,824,977株
2024年3月期	961,549株	2023年3月期	984,827株
2024年3月期	21,857,635株	2023年3月期	21,821,072株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	227,628	△2.3	7,027	△15.4	7,090	△16.7	4,815	△3.7
2023年3月期	233,010	15.4	8,310	41.3	8,512	37.8	5,002	17.1
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年3月期	220.30		219.38					
2023年3月期	229.23		228.11					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2024年3月期	139,525		73,642		52.7	3,362.09		
2023年3月期	136,011		69,902		51.3	3,194.71		

(参考) 自己資本 2024年3月期 73,506百万円 2023年3月期 69,772百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現段階において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと異なることがあります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P5「(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2024年5月21日（火）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料については、事前に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
4. 個別財務諸表及び主な注記	17
(1) 貸借対照表	17
(2) 損益計算書	19
(3) 株主資本等変動計算書	20

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、欧米ではインフレを起因とする金融引き締めが続き、ウクライナ侵攻の長期化により食料品やエネルギー資源が高騰、アジアでは中国の不良債権問題の顕在化や経済安全保障の動向により輸出規制やサプライチェーンにも影響が出るなど総じて弱含みに推移しました。

国内経済は、日米金利差により円安が進むなか、企業収益は高水準を維持し、人手不足解消のためのデジタル投資や半導体・電動化関連などの設備投資も高水準で推移しました。個人消費については、エネルギー価格や消費財の高騰などの影響により足踏み状態で推移しました。

当社グループの取引に関係する業界は、産業機器市場で一部在庫調整の局面が見られ、また工事現場や生産現場における人手不足が顕在化したものの、省力化投資などの設備投資や自動車生産の回復に加え、サプライチェーンの回復とリバウンド需要などにより堅調に推移しました。

このような状況下、当社は、2023年4月には会社名を「菱電商事株式会社」から「株式会社RYODEN」に変更、新生RYODENとして新たな価値を創造すべく「成長事業のビジネスモデルの確立」「基幹中核事業の生産性向上」及び「事業推進基盤の強化」に取り組んでまいりました。

その結果、当社グループの当連結会計年度の業績は、売上高2,590億8百万円(前期比0.5%減)、営業利益83億26百万円(前期比11.2%減)、経常利益82億36百万円(前期比9.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益57億36百万円(前期比6.9%増)となり、親会社株主に帰属する当期純利益は過去最高となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

(単位：百万円)

		前連結会計年度	当連結会計年度	増減率 (%)
FAシステム	売上高	46,294	52,039	12.4
	営業利益	1,704	2,599	52.6
冷熱ビルシステム	売上高	27,259	30,891	13.3
	営業利益	1,071	1,638	53.0
X-Tech (クロステック)	売上高	5,709	6,106	6.9
	営業損失(△)	△311	△317	-
エレクトロニクス	売上高	181,130	170,031	△6.1
	営業利益	7,335	4,914	△33.0

①FAシステム

工作機械向けの販売は低調に推移しましたが、盤メーカー及び半導体製造装置メーカー向けの販売が好調だったことに加え、エンドユーザー向け大型設備投資案件の獲得に注力したことで好調に推移しました。

その結果、FAシステムの売上高は520億39百万円、営業利益は25億99百万円となりました。

②冷熱ビルシステム

冷熱分野では、製造業の設備投資やインバウンド需要が回復したことで、業務用パッケージエアコン、低温設備機器の販売が好調に推移しました。

ビルシステム分野では、建設市場における資機材高騰や工期長期化の影響を受けましたが、昇降機設備や環境・省エネ設備案件などのビルマネジメント分野の受注を獲得したことで好調に推移しました。

その結果、冷熱ビルシステムの売上高は308億91百万円、営業利益は16億38百万円となりました。

③X-Tech (クロステック)

ヘルスケア分野では、医療関連の設備投資が落ち込んだことにより、IT関連機器をパッケージ化して提供するサブスクリプションサービス「トータルパックIT」等の販売が低調に推移しました。

ICT分野では、ビデオマネジメントシステム「FlaRevo」やRFID関連製品の販売が減少しましたが、PC・サーバーを始めとしたIT関連機器の販売は好調に推移しました。

スマートアグリ分野では、電気代高騰等の影響を受け引き続き受注が低調に推移したものの、2025年度以降再投資局面に入ることをにらみ、植物工場野菜の研究開発・生産・販売・ブランディングを提供できる体制を整え、データドリブンで収益性の高いスマート農業の実現に向けた当社独自サービスの構築に引き続き取り組んでおります。

以上の結果、X-Techの売上高は61億6百万円、営業損失は3億17百万円となりました。

④エレクトロニクス

国内では、車載市場は一部顧客の在庫調整もありましたが、インフォテインメント機器向けSoC (System-on-Chip) やメモリ、センサーIC等の販売が堅調に推移しました。産業機器市場では顧客の受注残による生産が継続したことでパワーデバイス等の販売が堅調に推移しましたが、中国の景気減速の影響を受け、年度後半は生産調整により低調な推移となりました。

海外子会社では、東南アジア地域の車載関連向けメモリ等の販売が堅調に推移したものの、中国市場の景気減速の影響を受け民生・産業機器関連向けアナログ半導体等の販売が低調に推移しました。

その結果、エレクトロニクスの売上高は1,700億31百万円、営業利益は49億14百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産の部は、受取手形、売掛金及び契約資産が12億49百万円、商品及び製品が26億78百万円減少しましたが、現金及び預金が76億51百万円、電子記録債権が31億36百万円増加したことにより、資産合計は前連結会計年度末比49億78百万円増加し、1,560億27百万円となりました。

負債の部は、電子記録債務が126億53百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が141億31百万円、短期借入金が1億90百万円、退職給付に係る負債が26億1百万円減少したこと等により、負債合計は前連結会計年度末比22億6百万円減少し、689億44百万円となりました。

純資産の部は、親会社株主に帰属する当期純利益を57億36百万円、配当金19億1百万円計上、為替換算調整勘定が7億90百万円、その他有価証券評価差額金が7億84百万円、退職給付に係る調整累計額が17億27百万円増加したこと等により、純資産合計は前連結会計年度末比71億84百万円増加し、870億83百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末比2.9ポイント増加し、55.7%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当社グループは、経営成績の向上と財政状態の安定を図り、資金需要に応じた一定の手許流動性を維持しながら、健全かつ効率的な財務活動を行っております。

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末比73億31百万円増加し、184億22百万円の残高となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動により得られた資金は、99億42百万円（前年同期比101億41百万円収入増）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益84億7百万円の計上と、売上債権・棚卸資産、並びに仕入債務の増加によるネット資金の増加2億18百万円、未収入金の減少による資金の増加29億15百万円、法人税等の支払34億45百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動に使用した資金は、7億10百万円（前年同期比5億40百万円収入増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出3億6百万円、無形固定資産の取得による支出2億2百万円、投資有価証券の取得による支出1億82百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動に使用した資金は、22億83百万円（前年同期比21億68百万円支出増）となりました。これは主に、配当金の支払18億97百万円、短期借入金の返済2億73百万円、長期借入金の返済1億10百万円によるものです。

キャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率	52.5%	55.6%	52.9%	52.8%	55.7%
時価ベースの自己資本比率	22.0%	28.6%	26.3%	27.0%	38.0%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	20.6%	74.1%	—	—	40.8%
インタレスト・カバレッジ・レシオ	167.3倍	80.2倍	—	—	114.7倍

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

*各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

*株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

*キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表上に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

*2022年3月期及び2023年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは当該期のキャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

米国経済は減速傾向にはあるものの生産性の向上などに支えられ堅調に推移、欧州経済はインフレ基調が鈍化しつつもドイツ経済の低迷が長期化し、また中国経済は不動産市場の調整と雇用・所得の回復の鈍さを背景に大幅な回復が見込めず、さらにウクライナ・中東情勢不安などの地政学リスクは長期化が見込まれ、引き続き先行き不透明な状況です。

日本経済は円安による影響が注視されるものの、海外経済の緩やかな成長と緩和的な金融環境などを背景に潜在成長率を上回る成長が継続するものと見られます。

当社グループの取引に関する業界は、半導体不足によるサプライチェーンの混乱は収束し、品不足時の過剰発注や過剰在庫の反動による一時的な調整はあったものの、需給バランスは正常化してきており、脱炭素・省電力投資や電気自動車、生成AIなどの先端分野への投資、2024年問題や2025年問題に対する省人化投資などの設備投資が活発化していくものと見込まれます。

このような状況下、次期(2025年3月期)は5ヶ年の中期経営計画「ICHIGAN 2024」の最終年度となり、事業創出会社への変革は着実に進んでおりますが、収益の柱と見込んだスマートアグリの実業環境の激変、ヘルスケアの市場低迷に加えエレクトロニクスにおける主要取扱製品の販売終了などの影響もあり最終年度の経営目標値の達成はまだ時間がかかる見通しです。

当社グループはこうした環境変化をさらなる成長の機会と捉え、戦略的な投資とブランド価値の向上、技術の集約による提案力とイノベーション力の強化を推し進めるとともに、基幹中核事業であるFAシステム・冷熱ビルシステムではメーカーとの単なる縦の連携から脱却、徹底した顧客志向でハードウェアを販売するためのソリューションモデルからお客様の求める価値にお応えするソリューションへ視点を変革することで事業ドメインを拡大し、競合他社ではできない価値を提案、販路拡大を進めます。

エレクトロニクスではマーケティング機能の強化に取り組み、特に車載向けを中心とした新規顧客の開拓と既存顧客への積極的な拡販に加えパワー・アナログ及びセンサーの取扱いを拡充し、収益力の強化を図ります。

そしてスマートアグリでは収益力の高いビジネスモデルを早期に確立し、植物工場野菜の特長を生かせる市場を自ら創出するとともに、これまで蓄積した光合成エンジニアリング技術をフードテック市場に展開し、事業領域の拡大を図ります。またヘルスケアでは引き続き医療ITソリューションビジネスに注力するとともに、次世代病室プロジェクトや検体検査ビジネスにもチャレンジしてまいります。

以上から、次期の業績見通しにつきましては、連結売上高2,190億円、営業利益72億円、経常利益73億円、親会社株主に帰属する当期純利益53億円を見込んでおります。

なお、上記の見通しは現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、様々な要因によりこれらの見通しとは異なる結果となることがあります。

また次期中期経営計画は決定次第、公表いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、海外売上高比率の動向及び我が国における国際会計基準の適用状況等を踏まえ、同基準の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,632	19,284
受取手形、売掛金及び契約資産	58,516	57,267
電子記録債権	21,307	24,444
有価証券	168	37
商品及び製品	37,879	35,201
その他	6,851	3,967
貸倒引当金	△29	△30
流動資産合計	136,326	140,172
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,038	4,211
減価償却累計額	△2,098	△2,269
建物及び構築物（純額）	1,939	1,941
機械装置及び運搬具	1,159	1,403
減価償却累計額	△488	△749
機械装置及び運搬具（純額）	671	653
工具、器具及び備品	1,235	1,319
減価償却累計額	△1,015	△1,061
工具、器具及び備品（純額）	220	258
土地	2,595	2,595
建設仮勘定	11	16
有形固定資産合計	5,438	5,465
無形固定資産		
ソフトウェア	759	889
その他	157	148
無形固定資産合計	917	1,038
投資その他の資産		
投資有価証券	6,367	7,583
長期前払費用	160	171
繰延税金資産	356	105
その他	1,724	1,740
貸倒引当金	△248	△255
投資その他の資産合計	8,359	9,345
固定資産合計	14,715	15,849
繰延資産	7	5
資産合計	151,049	156,027

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,732	27,600
電子記録債務	15,704	28,358
短期借入金	1,633	1,443
未払法人税等	1,905	1,236
その他	4,575	6,431
流動負債合計	65,551	65,070
固定負債		
長期借入金	1,785	1,773
退職給付に係る負債	2,980	378
その他	834	1,721
固定負債合計	5,599	3,873
負債合計	71,150	68,944
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,334	10,334
資本剰余金	7,504	7,523
利益剰余金	59,391	63,226
自己株式	△742	△726
株主資本合計	76,488	80,358
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,940	2,724
為替換算調整勘定	2,023	2,814
退職給付に係る調整累計額	△685	1,042
その他の包括利益累計額合計	3,278	6,580
新株予約権	129	135
非支配株主持分	2	8
純資産合計	79,898	87,083
負債純資産合計	151,049	156,027

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	260,303	259,008
売上原価	230,819	229,780
売上総利益	29,484	29,228
販売費及び一般管理費	20,104	20,902
営業利益	9,380	8,326
営業外収益		
受取利息	64	165
受取配当金	144	161
持分法による投資利益	-	28
固定資産賃貸料	56	77
その他	133	95
営業外収益合計	398	528
営業外費用		
支払利息	56	89
持分法による投資損失	39	-
固定資産除売却損	1	4
売上債権売却損	21	22
為替差損	530	439
投資有価証券売却損	4	18
その他	47	42
営業外費用合計	701	618
経常利益	9,077	8,236
特別利益		
投資有価証券売却益	126	8
投資有価証券清算益	-	2
固定資産売却益	8	-
補助金収入	1,435	70
段階取得に係る差益	-	132
特別利益合計	1,571	214
特別損失		
固定資産除売却損	-	0
固定資産圧縮損	1,435	-
投資有価証券評価損	-	43
関係会社株式評価損	860	-
特別損失合計	2,296	43
税金等調整前当期純利益	8,352	8,407
法人税、住民税及び事業税	2,867	2,631
法人税等調整額	117	38
法人税等合計	2,985	2,670
当期純利益	5,366	5,737
非支配株主に帰属する当期純利益	-	1
親会社株主に帰属する当期純利益	5,366	5,736

連結包括利益計算書

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	5,366	5,737
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	287	784
為替換算調整勘定	1,172	790
退職給付に係る調整額	△327	1,727
その他の包括利益合計	1,132	3,302
包括利益	6,499	9,040
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	6,499	9,038
非支配株主に係る包括利益	-	1

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,334	7,449	55,458	△800	72,442
当期変動額					
剰余金の配当			△1,373		△1,373
親会社株主に帰属する当期純利益			5,366		5,366
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		55		58	113
連結範囲の変動			△44		△44
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			△15		△15
当期変動額合計	-	55	3,933	57	4,046
当期末残高	10,334	7,504	59,391	△742	76,488

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘 定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計			
当期首残高	1,652	850	△357	2,145	178	-	74,766
当期変動額							
剰余金の配当							△1,373
親会社株主に帰属する当期純利益							5,366
自己株式の取得							△0
自己株式の処分							113
連結範囲の変動							△44
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	287	1,172	△327	1,132	△49	2	1,070
当期変動額合計	287	1,172	△327	1,132	△49	2	5,132
当期末残高	1,940	2,023	△685	3,278	129	2	79,898

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,334	7,504	59,391	△742	76,488
当期変動額					
剰余金の配当			△1,901		△1,901
親会社株主に帰属する当期純利益			5,736		5,736
自己株式の取得				△1	△1
自己株式の処分		18		18	36
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	18	3,835	16	3,870
当期末残高	10,334	7,523	63,226	△726	80,358

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘 定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計			
当期首残高	1,940	2,023	△685	3,278	129	2	79,898
当期変動額							
剰余金の配当							△1,901
親会社株主に帰属する当期純利益							5,736
自己株式の取得							△1
自己株式の処分							36
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	784	790	1,727	3,302	6	5	3,314
当期変動額合計	784	790	1,727	3,302	6	5	7,184
当期末残高	2,724	2,814	1,042	6,580	135	8	87,083

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	8,352	8,407
減価償却費	572	648
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△42	1
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△311	△124
受取利息及び受取配当金	△209	△327
支払利息	56	89
持分法による投資損益 (△は益)	39	△28
固定資産除売却損益 (△は益)	△8	0
投資有価証券売却損益 (△は益)	△123	10
投資有価証券評価損益 (△は益)	△1	47
関係会社株式評価損	860	0
補助金収入	△1,435	△70
固定資産圧縮損	1,435	-
段階取得に係る差損益 (△は益)	-	△132
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,903	△554
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4,375	3,227
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,999	△2,454
未収入金の増減額 (△は増加)	551	2,915
その他	743	1,454
小計	2,200	13,110
利息及び配当金の受取額	249	362
利息の支払額	△49	△86
法人税等の支払額	△2,599	△3,445
営業活動によるキャッシュ・フロー	△199	9,942
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	-	166
有形固定資産の取得による支出	△2,369	△306
有形固定資産の売却による収入	18	0
無形固定資産の取得による支出	△181	△224
投資有価証券の取得による支出	△40	△182
投資有価証券の売却による収入	471	102
定期預金の純増減額 (△は増加)	△530	△283
短期貸付けによる支出	△57	-
補助金の受取額	1,435	70
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	71
その他	1	△127
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,251	△710
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	767	△273
長期借入れによる収入	515	-
長期借入金の返済による支出	-	△110
自己株式の純増減額 (△は増加)	△0	△1
配当金の支払額	△1,397	△1,897
財務活動によるキャッシュ・フロー	△115	△2,283
現金及び現金同等物に係る換算差額	450	383
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,115	7,331
現金及び現金同等物の期首残高	11,577	11,091
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	629	-
現金及び現金同等物の期末残高	11,091	18,422

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当連結会計年度において、ストック・オプションの権利行使に伴う自己株式24,000株の処分により、自己株式が18百万円減少し、資本剰余金は自己株式処分差益18百万円を計上したことにより増加しております。

この結果、当連結会計年度末における資本剰余金が75億23百万円、自己株式が7億26百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、事業部を基礎とした商品別のセグメントから構成されており、「FAシステム事業」、「冷熱ビルシステム事業」、「X-Tech事業」、「エレクトロニクス事業」の4つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

各報告セグメントに属する主要商品は以下のとおりです。

FAシステム事業…サーボシステム、インバータ、NC装置

冷熱ビルシステム事業…パッケージエアコン、チリングユニット、冷凍機、エレベーター

X-Tech事業…映像・画像情報システム、メディカルファシリティ、植物工場システム

エレクトロニクス事業…メモリ、マイコン、パワーデバイス、素材、素形材

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結 財務諸表 計上額
	FA システム	冷熱ビル システム	X-T e c h	エレクト ロニクス	計				
売上高									
外部顧客への売上高	46,294	27,259	5,709	181,040	260,303	—	260,303	—	260,303
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	90	90	—	90	△90	—
計	46,294	27,259	5,709	181,130	260,394	—	260,394	△90	260,303
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失)	1,704	1,071	△311	7,335	9,799	—	9,799	△419	9,380
セグメント資産	26,488	16,581	4,640	96,633	144,344	775	145,119	5,930	151,049
その他の項目									
減価償却費	127	85	139	214	567	—	567	4	572
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	107	77	2,318	166	2,669	—	2,669	—	2,669

(注) 1 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△419百万円には、各報告セグメントに配賦されていない全社費用△417百万円が含まれております。全社費用は報告セグメントに帰属しない新規事業開発に係る一般管理費であります。

セグメント資産の調整額5,930百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産で、その主なものは余資運用資金及び長期投資資金等であります。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結 財務諸表 計上額
	FA システム	冷熱ビル システム	X-T e c h	エレクト ロニクス	計				
売上高									
外部顧客への売上高	52,039	30,891	6,106	169,971	259,008	—	259,008	—	259,008
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	60	60	—	60	△60	—
計	52,039	30,891	6,106	170,031	259,069	—	259,069	△60	259,008
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失)	2,599	1,638	△317	4,914	8,835	—	8,835	△508	8,326
セグメント資産	27,783	18,225	4,752	91,425	142,187	811	142,999	13,028	156,027
その他の項目									
減価償却費	131	81	228	196	637	—	637	9	647
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	164	112	106	250	634	—	634	—	634

(注) 1 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△508百万円には、各報告セグメントに配賦されていない全社費用△510百万円が含まれております。全社費用は報告セグメントに帰属しない新規事業開発に係る一般管理費であります。

セグメント資産の調整額13,028百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産で、その主なものは余資運用資金及び長期投資資金等であります。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	海外					連結合計
	アジア		北米	欧州	海外計	
	中国	その他				
(81.8%) 213,022	(10.3%) 26,780	(4.9%) 12,822	(2.2%) 5,680	(0.8%) 1,998	(18.2%) 47,281	(100.0%) 260,303

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
パナソニック株式会社	48,146	エレクトロニクス

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	海外					連結合計
	アジア		北米	欧州	海外計	
	中国	その他				
(81.7%) 211,626	(10.3%) 26,623	(5.4%) 14,091	(1.9%) 4,913	(0.7%) 1,753	(18.3%) 47,382	(100.0%) 259,008

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
パナソニック株式会社	38,439	エレクトロニクス

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	3,652.29円	3,976.49円
1株当たり当期純利益	245.93円	262.43円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	244.73円	261.33円

(注) 1 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	5,366	5,736
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に 帰属する当期純利益 (百万円)	5,366	5,736
普通株式の期中平均株式数 (千株)	21,821	21,857
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する 当期純利益調整額 (百万円)	—	—
普通株式増加数 (千株)	106	92
(うち新株予約権) (千株)	(106)	(92)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1株当たり当期純利益の算定に含めなかった 潜在株式の概要	—	—

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2023年3月31日)	当連結会計年度末 (2024年3月31日)
純資産の部の合計額 (百万円)	79,898	87,083
純資産の部の合計額から控除する 金額 (百万円)	132	144
(うち新株予約権) (百万円)	(129)	(135)
(うち非支配株主持分) (百万円)	(2)	(8)
普通株式に係る期末の純資産額 (百万円)	79,766	86,939
1株当たり純資産額の算定に用い られた期末の普通株式の数 (千株)	21,840	21,863

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,111	12,303
受取手形	2,539	2,427
電子記録債権	20,942	23,939
売掛金	54,739	51,996
契約資産	64	103
有価証券	168	37
商品及び製品	29,399	27,219
前渡金	239	247
前払費用	29	47
短期貸付金	1,429	563
未収入金	5,658	3,045
その他	387	296
貸倒引当金	△32	△32
流動資産合計	119,678	122,195
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	629	638
機械及び装置	219	222
車両運搬具	0	0
工具、器具及び備品	178	192
土地	2,524	2,524
リース資産	6	9
建設仮勘定	0	16
有形固定資産合計	3,558	3,604
無形固定資産		
ソフトウェア	756	881
その他	3	3
無形固定資産合計	760	884
投資その他の資産		
投資有価証券	5,053	6,109
関係会社株式	2,347	2,434
その他の関係会社有価証券	5	5
関係会社長期貸付金	941	788
長期前払費用	160	171
繰延税金資産	560	286
その他	3,045	3,139
貸倒引当金	△99	△95
投資その他の資産合計	12,014	12,841
固定資産合計	16,332	17,330
資産合計	136,011	139,525

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	642	363
電子記録債務	15,704	28,358
買掛金	38,983	25,220
短期借入金	600	650
リース債務	5	5
未払金	1,250	1,495
未払費用	1,378	1,384
未払法人税等	1,784	1,117
前受金	279	252
預り金	323	417
役員賞与引当金	41	52
その他	827	2,306
流動負債合計	61,821	61,624
固定負債		
リース債務	6	6
退職給付引当金	3,494	3,464
長期預り保証金	759	760
資産除去債務	27	27
固定負債合計	4,287	4,259
負債合計	66,109	65,883
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,334	10,334
資本剰余金		
資本準備金	7,355	7,355
その他資本剰余金	149	168
資本剰余金合計	7,504	7,523
利益剰余金		
利益準備金	788	788
その他利益剰余金		
土地圧縮積立金	238	238
別途積立金	11,100	11,100
繰越利益剰余金	38,608	41,522
利益剰余金合計	50,736	53,650
自己株式	△742	△726
株主資本合計	67,832	70,782
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,940	2,724
評価・換算差額等合計	1,940	2,724
新株予約権	129	135
純資産合計	69,902	73,642
負債純資産合計	136,011	139,525

(2) 損益計算書

	(単位：百万円)	
	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	233,010	227,628
売上原価	207,102	202,462
売上総利益	25,907	25,165
販売費及び一般管理費	17,596	18,138
営業利益	8,310	7,027
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	426	474
その他	190	165
営業外収益合計	617	639
営業外費用		
支払利息	20	18
為替差損	325	485
その他	70	71
営業外費用合計	416	576
経常利益	8,512	7,090
特別利益		
投資有価証券売却益	126	-
特別利益合計	126	-
特別損失		
関係会社株式評価損	959	-
投資有価証券評価損	-	43
特別損失合計	959	43
税引前当期純利益	7,678	7,047
法人税、住民税及び事業税	2,588	2,305
法人税等調整額	88	△72
法人税等合計	2,676	2,232
当期純利益	5,002	4,815

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金			利益剰余金 合計
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金			
					土地圧縮積 立金	別途積立金	繰越利益剰 余金		
当期首残高	10,334	7,355	94	7,449	788	238	11,100	34,980	47,107
当期変動額									
剰余金の配当								△1,373	△1,373
当期純利益								5,002	5,002
自己株式の取得									
自己株式の処分			55	55					
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)									
当期変動額合計	-	-	55	55	-	-	-	3,628	3,628
当期末残高	10,334	7,355	149	7,504	788	238	11,100	38,608	50,736

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合 計	その他有価 証券評価差 額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	△800	64,091	1,652	1,652	178	65,923
当期変動額						
剰余金の配当		△1,373				△1,373
当期純利益		5,002				5,002
自己株式の取得	△0	△0				△0
自己株式の処分	58	113				113
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)			287	287	△49	238
当期変動額合計	57	3,741	287	287	△49	3,979
当期末残高	△742	67,832	1,940	1,940	129	69,902

当事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金			利益剰余金 合計
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金			
					土地圧縮積 立金	別途積立金	繰越利益剰 余金		
当期首残高	10,334	7,355	149	7,504	788	238	11,100	38,608	50,736
当期変動額									
剰余金の配当								△1,901	△1,901
当期純利益								4,815	4,815
自己株式の取得									
自己株式の処分			18	18					
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)									
当期変動額合計	-	-	18	18	-	-	-	2,914	2,914
当期末残高	10,334	7,355	168	7,523	788	238	11,100	41,522	53,650

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合 計	その他有価 証券評価差 額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	△742	67,832	1,940	1,940	129	69,902
当期変動額						
剰余金の配当		△1,901				△1,901
当期純利益		4,815				4,815
自己株式の取得	△1	△1				△1
自己株式の処分	18	36				36
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)			784	784	6	790
当期変動額合計	16	2,949	784	784	6	3,739
当期末残高	△726	70,782	2,724	2,724	135	73,642